

平成29年度 事務事業マネジメントシート

| | | | | | | | | |
|-----|------------|-----------------|-----------------------------|------|------|----|----|----|
| 事業名 | 教育指導人材充実事業 | | | 会計 | 款 | 項目 | 大事 | 小事 |
| 政策 | 03 | 3節 | 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上） | 主管課 | 指導課 | | | |
| 施策 | 3-2 | 個性を生かす教育環境の基盤充実 | | 主管課長 | 西村 淳 | | | |

事務事業の目的・内容

| | | | | |
|-----------------|--|-----------------|----|---|
| 事業目的 | 対象 | 市内公立小中学校に通う児童生徒 | 意図 | 優れた技能や特技、専門家の指導を学校教育に取り入れ、教育内容の質的な向上を図り、児童生徒への指導の充実を図る。 |
| 事業内容 | 就学指導委員会、義務教育人材活用、音楽鑑賞教室、小中学校日本語指導等、幅広い人材を活用し、学習指導に活かすことにより、学校教育の充実を図る。 | | | |
| 事業開始から現在までの状況変化 | 多様な活動の中でも、平成3年より実施した義務教育人材活用事業は、地域の人材を招聘し、学習等の充実が図られ、特色ある学校の活動ができています。小中学校日本語指導については、流山市に転入する外国人も増加傾向にあることから、学校からの支援要請希望も増加している。 | | | |

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

| 指標 | 名称 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 単位 | 目標方向 | 算定式（成果指標の場合） |
|--------------------------|---|-----------|-----------------------------------|-----------|--|------|--------------|
| | | 義務教育人材活用 | 908 | 944 | 1002 | 回 | ↑↑↑ |
| 指標で表すことができない定性的な成果 | 様々な分野の人材を活用することにより、普通の学習や活動では得る事ができない、専門的な指導を受けることができた。 | | 目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） | | 学校ごとの地域人材の活用が、特色ある教育を進めるうえで大きな役割を担うようになっている。 専門的な知識を有する方を学校に招聘することにより、学校での教育内容を大きく広げることに寄与している。 | | |
| 事務事業のコスト | | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | | | |
| 事務事業の総コスト(a=b+c) | | 5,724,754 | 5,925,800 | 6,088,017 | | | |
| 事業費(b)(円) | | 3,842,254 | 4,209,550 | 4,410,017 | | | |
| うち一般財源 | | 3,842,254 | 4,209,550 | 4,410,017 | | | |
| 職員給与費(c)(円) | | 1,882,500 | 1,716,250 | 1,678,000 | | | |
| 人役・職員(人) | | 0.25 | 0.25 | 0.25 | | | |
| 人役・再任用(人) | | | | | | | |
| 人役・臨職(人) | | | | | | | |
| 人役・嘱託(人) | | | | | | | |
| 初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入） | | | | | | | |
| 想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入） | | | | | | | |

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

| | | | | | | |
|------|-------------------|---------|-----------------|-----|---------|-------------|
| 個別評価 | 必要性 | 今後の必要性 | A 必要性が高まると考えられる | 有効性 | 目標達成度 | A 達成できた |
| | | 市関与の必要性 | A 市が担うべき | 効率性 | 対象者の適切性 | A 対象者は適切である |
| | | | | | コストの削減 | A 削減の余地はない |
| 総合評価 | 継続（事業を現状どおり継続すべき） | | | | | |

(2) 事務事業の業務改善について

| | | | |
|-----------------|--|----------------|---|
| 今年度(H29)の改善計画 | 優れた人材を人材バンクとして登録し、幅広く広報し活用していくとともに、専門的な指導を受けられるよう、様々な分野の人材活用を図る。 | 取組の課題 | 登録された人材の活用状況を把握しながら、活用の呼びかけを各学校に定期的に行う必要がある。 |
| 今年度(H29)に実施した取組 | 人材バンクに幅広い分野の専門家を登録し、活用を図るよう各学校に呼びかけた。様々な分野の人材を派遣した。 | 今後(H30以降)の改善計画 | 登録された人材の活用状況を把握するとともに、教育ニーズに合った人材の確保、教育内容の質的な向上を図るための呼びかけを定期的に行う。 |